

はじめに

東京都教育委員会は、平成9年度から平成23年度までを計画期間とした、「都立高校改革推進計画」を策定し、当時の急激な生徒数の減少や生徒の多様化に対応するため、都立高校の適正な配置を進めつつ、学区の廃止や入学者選抜制度の改善、中高一貫教育校を含めた新しいタイプの高校等の設置など「魅力ある都立高校」を目指して多様な教育条件の整備を図り、都民の皆様からの信頼の回復に取り組んできました。

東京都教育委員会は、今年4月に「都立高校改革推進計画」に基づく最後の高校を開校し計画事業の全てを実施したことから、この計画の成果を検証し、その結果をまとめました。

この検証と併せて、「都立高校改革推進計画」に取り組んできた現在の都立高校や中高一貫教育校の状況についても明らかにすることとし、この度、平成7年度以来の都立高校白書となる「都立高校と生徒の未来を考えるために」を作成しました。

本書は、高等学校教育の役割である「自立した社会の形成者」の育成のために「今日の都立高校に求められているものは何か」について、都立高校の状況を把握し、今日的な視点による課題を明らかにしたものです。

「都立高校改革推進計画」を策定した平成9年から現在までの間に、我が国や東京の社会、経済状況は厳しさを増し、若者の意識も変容するなど、都立高校や生徒を取り巻く状況は大きく変化しています。

本年3月には東日本大震災が発生し、混沌とした時代への変貌が更に進んでいます。

こうした時代の中で、強く生き抜く力をもった人間を育成することが今の都立高校には求められており、都民の皆様からの次代を担う人材育成への期待が日に日に高まっています。この期待に応えることが、生徒の皆さんや保護者の方々に対する責任でもあると考えています。

また、国においても、教育基本法の改正等を経て10年ぶりに学習指導要領が全面改訂され、高等学校では、一部教科において平成24年度からこの新しい学習指導要領に基づく教育活動が始まります。

東京都教育委員会は、「人としての絆」がひと際大切になってきたこの時期に作成した本書を、都立高校における教育改革の新たな出発点として活用したいと考えています。

あわせて、本書が、都民の皆様から信頼される都立高校のあるべき姿について、また、社会人として自立していく生徒の未来について、私たちと共に都民の皆様にもご一考いただける機会となれば幸いです。

平成23年9月

東京都教育委員会